



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 藤倉化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 下田 善三

TEL 03-3436-1101

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,382	14.3	780	51.7	1,062	41.9	568	52.0
2020年3月期第3四半期	41,264	2.7	1,615	34.8	1,829	31.1	1,184	29.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 65百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 849百万円 (34.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	17.85	
2020年3月期第3四半期	37.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	52,446	35,607	63.1
2020年3月期	50,814	36,386	66.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 33,085百万円 2020年3月期 33,711百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.00		8.00	16.00
2021年3月期		8.00			
2021年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	7.7	1,200	31.4	1,400	29.6	700	43.3	21.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	32,716,878 株	2020年3月期	32,716,878 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	887,714 株	2020年3月期	887,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	31,829,164 株	2020年3月期3Q	31,829,164 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
	(継続企業の前提に関する注記)	8
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
	(セグメント情報等)	8
	(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結結果計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい環境で推移いたしました。経済活動の再開による回復の動きも見られましたが、再び感染が拡大するなど先行き不透明な状況にあります。また、海外におきましても一部の地域では経済活動再開による持ち直しの動きも見られましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立っておらず、米中の貿易摩擦問題などもあり先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第3四半期連結結果計期間の売上高は353億82百万円（前年同期比14.3%減）となり、営業利益は7億80百万円（同51.7%減）、経常利益は10億62百万円（同41.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億68百万円（同52.0%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車向け分野では、10月以降の自動車生産台数の回復により、海外市場を中心に需要が堅調に推移しましたが、9月までの販売不振を補うまでには至りませんでした。また、非自動車分野におきましては、海外市場での販売拡大や国内の巣ごもり需要によりホビー用塗料の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は130億98百万円（同22.6%減）となり、営業利益は73百万円（同85.9%減）となりました。

② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による住宅メーカーの営業活動の自粛や、リフォーム工事件数の減少により新築向け市場、リフォーム向け市場ともに販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は86億41百万円（同18.0%減）となり、営業利益は3億32百万円（同57.5%減）となりました。

③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』）などを取扱う電子材料部門におきましては、世界的なパソコン需要の増加に伴い、パソコン向け製品の販売が好調に推移いたしました。また、自動車生産台数の回復に伴い車載向け製品の販売も堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は27億5百万円（同20.0%増）となり、営業利益は1億24百万円（同1.9%増）となりました。

④ 化成品

トナー用レジン、樹脂ベース（『アクリベース』）やメディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、世界的なテレワークの推進に伴いオフィスでの需要が減少した影響により、トナー用レジンの販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は24億88百万円（同18.0%減）となり、営業利益は86百万円（同67.3%減）となりました。

⑤ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、感染症対策用のフェイスガードや飛沫防止用のアクリル板の需要は堅調に推移しましたが、カーエレクトロニクス分野向け製品の販売が低調に推移いたしました。

この結果、売上高は85億5百万円（同1.1%減）となり、営業利益は1億65百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ16億32百万円（前連結会計年度末比3.2%）増加し、524億46百万円となりました。

① 流動資産

売上債権の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ15億59百万円（同5.1%）増加し、318億60百万円となりました。

② 固定資産

投資その他の資産の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ73百万円（同0.4%）増加し、205億86百万円となりました。

③ 流動負債

仕入債務の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ23億24百万円（同20.8%）増加し、135億5百万円となりました。

④ 固定負債

退職給付に係る負債の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ88百万円（同2.7%）増加し、33億35百万円となりました。

⑤ 純資産

為替換算調整勘定の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ7億80百万円（同2.1%）減少し、356億7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.3%から63.1%へと3.2ポイント減少となり、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末より19円69銭減少し、1,039円45銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車向け製品を中心に通期で売上が低迷する見込みでありましたが、第3四半期以降急速に市場が回復し、また全社的な経費抑制および原価低減等の収益改善施策の効果もあり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回公表いたしました予想を上回る見通しとなりましたので、上記の通り業績予想を修正いたします。

詳細は本日、2021年2月12日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,323,573	13,280,841
受取手形及び売掛金	10,561,996	11,918,318
商品及び製品	3,744,144	3,486,917
仕掛品	55,568	53,728
原材料及び貯蔵品	2,057,400	2,269,889
その他	692,287	995,154
貸倒引当金	△134,118	△144,675
流動資産合計	30,300,850	31,860,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,827,657	11,761,525
減価償却累計額	△6,697,609	△6,914,496
建物及び構築物 (純額)	5,130,048	4,847,029
機械装置及び運搬具	14,088,065	14,064,996
減価償却累計額	△11,726,640	△11,906,066
機械装置及び運搬具 (純額)	2,361,425	2,158,930
工具、器具及び備品	5,038,124	5,081,981
減価償却累計額	△4,115,364	△4,241,110
工具、器具及び備品 (純額)	922,760	840,871
土地	4,546,650	4,506,354
リース資産	659,242	654,015
減価償却累計額	△266,020	△262,903
リース資産 (純額)	393,222	391,112
建設仮勘定	452,327	1,105,305
有形固定資産合計	13,806,432	13,849,601
無形固定資産		
ソフトウェア	237,816	170,114
その他	957,761	830,147
無形固定資産合計	1,195,577	1,000,261
投資その他の資産		
投資有価証券	2,196,572	2,733,138
長期貸付金	73,343	68,677
繰延税金資産	741,990	563,786
その他	2,938,188	2,809,530
貸倒引当金	△438,771	△438,771
投資その他の資産合計	5,511,322	5,736,360
固定資産合計	20,513,331	20,586,222
資産合計	50,814,181	52,446,394

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,708,733	7,612,913
短期借入金	2,580,808	2,840,055
未払法人税等	274,296	68,946
未払費用	892,541	914,406
賞与引当金	593,386	319,112
リース債務	84,972	85,394
その他	1,045,565	1,663,729
流動負債合計	11,180,301	13,504,555
固定負債		
繰延税金負債	111,788	109,000
退職給付に係る負債	2,561,236	2,585,158
長期未払金	116,133	117,005
リース債務	191,872	199,391
その他	266,404	324,766
固定負債合計	3,247,433	3,335,320
負債合計	14,427,734	16,839,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	23,316,273	23,375,094
自己株式	△524,976	△524,976
株主資本合計	33,183,617	33,242,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,425	278,871
為替換算調整勘定	812,968	3,045
退職給付に係る調整累計額	△438,512	△439,422
その他の包括利益累計額合計	527,881	△157,506
非支配株主持分	2,674,949	2,521,587
純資産合計	36,386,447	35,606,519
負債純資産合計	50,814,181	52,446,394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	41,264,462	35,381,661
売上原価	29,461,454	25,652,281
売上総利益	11,803,008	9,729,380
販売費及び一般管理費	10,188,475	8,949,448
営業利益	1,614,533	779,932
営業外収益		
受取利息	59,572	41,148
受取配当金	112,945	35,647
固定資産賃貸料	55,165	53,517
持分法による投資利益	58,157	5,657
為替差益	-	125,115
その他	75,598	101,680
営業外収益合計	361,437	362,764
営業外費用		
支払利息	39,497	31,258
為替差損	77,753	-
固定資産除却損	1,305	21,972
その他	28,602	27,137
営業外費用合計	147,157	80,367
経常利益	1,828,813	1,062,329
税金等調整前四半期純利益	1,828,813	1,062,329
法人税、住民税及び事業税	513,028	249,193
法人税等調整額	76,449	129,513
法人税等合計	589,477	378,706
四半期純利益	1,239,336	683,623
非支配株主に帰属する四半期純利益	55,656	115,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,183,680	568,088

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,239,336	683,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,776	126,873
為替換算調整勘定	△434,728	△851,811
退職給付に係る調整額	△12,945	△910
持分法適用会社に対する持分相当額	△44,196	△22,392
その他の包括利益合計	△390,093	△748,240
四半期包括利益	849,243	△64,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	840,850	△117,299
非支配株主に係る四半期包括利益	8,393	52,682

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	16,917,078	10,540,037	2,253,285	3,032,398	8,521,664	41,264,462
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	201	77,194	77,395
計	16,917,078	10,540,037	2,253,285	3,032,599	8,598,858	41,341,857
セグメント利益又 は損失(△)	516,875	781,338	121,805	263,065	△68,834	1,614,249

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,614,249
セグメント間取引消去	284
四半期連結損益計算書の営業利益	1,614,533

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	化成品	合成樹脂	計
売上高						
外部顧客への売上高	13,097,689	8,640,706	2,704,835	2,488,086	8,450,345	35,381,661
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	104	54,879	54,983
計	13,097,689	8,640,706	2,704,835	2,488,190	8,505,224	35,436,644
セグメント利益	72,955	332,106	124,171	86,043	164,844	780,119

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	780,119
セグメント間取引消去	△187
四半期連結損益計算書の営業利益	779,932

(重要な後発事象)

該当事項はありません。